

## 2026年 新年のご挨拶

日頃より NDS 労働組合の活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年も、組合員の皆様と力を合わせ、より良い職場づくりに向けて取り組んでまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、2026年は「午(うま)」年であり、十干十二支では 60 年に一度巡ってくる「丙午(ひのえ・うま)」にあたります。これらは、太陽のように燃え盛る情熱や行動力を持ち、これまでの努力が実を結ぶ「飛躍の年」と言われておりますので、私たちもこの勢いを活かし、自ら一步を踏み出して行動する一年にしていく所存です。

また、昨今の環境を振り返りますと、昨年は電電公社が民営化された 1985 年から 40 年が経過した年でもありました。国は 2035 年頃までのメタル設備の廃止と光・モバイルを用いたサービスへの移行方針を示すとともに、総務省に「電気通信設備エンジニア室」を設置するなど、「若い人がめざす業界」に向けた動きが加速しています。

こうした中、NDS グループにおいては、中期経営計画「NDS Plus to 2031 Refine」における基盤づくりの最終年度がスタートします。配電設備事業を第 2 の柱とするなど、市場の変化に対応できる事業運営体制の構築が進められています。

NDS 労働組合としても、こうした変化に対応した運動を進める必要があります。

「労働条件の向上」に向けては、昨年まで 12 年連続となる月例賃金改善を実現してまいりましたが、本年も社員・組合員の皆様の日頃からの弛まぬ努力が賃金・一時金へと適正に反映されるよう、「人への投資」をキーワードに、賃金の底上げ・格差是正に向けた労使間交渉に全力で取り組んでまいります。

併せて、今後の働き方の変化にも柔軟に対応できる仕組みづくりに向けた協議を着実に進めるとともに、労組役員の育成をはじめとした組織力の強化や、組合活動の DX 化にも継続して注力してまいります。

また、何より最優先すべきは「労働安全衛生の確立」です。過去の痛ましい事故の教訓を決して風化されることなく、すべての働く仲間が安全で安心して働き、毎日を「笑顔で帰ろう」と胸を張って言える職場づくりの実現に、引き続き取り組んでまいります。

一方、政治活動においては、昨年夏の「第 27 回参議院議員通常選挙」では皆様のご理解とご支援により、情報労連組織内「吉川 さおり」参議院議員をはじめとした多くの候補者の当選につながりました。あらためて感謝申し上げます。

労働組合が選挙に取り組むことは、日々の職場や将来の働き方を守り、より良い社会を次代につないでいくための重要な活動です。来る 2027 年の「第 21 回統一地方選挙」に向けても、その意義を共有する機会を大切にしてまいります。

結びに、組合員ならびにそのご家族の皆様が、本年も幸多き一年を過ごされますよう心より祈念申し上げるとともに、旧年中と変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

以上

2026年1月吉日

通建連合 NDS 労働組合  
執行委員長 南 建